

そ~なんだ！

## 野良猫の不妊手術 殺処分ゼロ目指して 活動広がり県内の全保健所へ /三重

毎日新聞 2017年8月21日 地方版

社会一般 > 動物 > 三重県 > ライフ >



手術を受けさせるため、三重県内各地で捕獲された野良猫=ひだまりにゃんこ提供

県内の野良猫を対象にした不妊の出張手術が、5月にオープンした県動物愛護推進センター「あすまいる」（津市森町）で行われた。出張手術は、名張市の野良猫救済団体「ひだまりにゃんこ」の高松智子代表（52）の働きかけで2014年にスタート。あすまいるの開設も追い風となり、今後は数ヶ月に一度のペースで実施する計画で、今月22、23両日にも行う予定だ。【広瀬晃子】

### ◆不幸な命を救え

県内での出張手術は、県と公益財団法人「どうぶつ基金」（兵庫県芦屋市）が協力して始まった。同基金では野良猫の繁殖を防ぐ「TNR先行型地域猫活動」として全国で手術を展開。TNRは「Trap」「Neuter」「Return」の略で、捕獲した野良猫に避妊・去勢手術をして元の場所に戻す取り組みを指す。

#### ◆TNRを知って



「ひだまりにゃんこ」の高松智子代表  
(左) = 三重県名張市で、広瀬晃子撮影

手術が実現したのは、高松代表が県などに粘り強く要望した背景がある。高松代表は11年に「ひだまりにゃんこ」を設立し、市内で地道にTNRに取り組んできた。

高松さんによると、手術費は1匹3万～1万5000円。費用は寄付金などを活用してきたが、名張市には手術の助成金制度がなく、自己負担することも多かった。団体での活動に限界を感じていた頃、基金の活動を知り、伊賀保健所などに説明し、支援の協力を得ることができた。

#### ◆全県に拡大

初回の手術（14年）は、野良猫問題を抱える伊賀市内のある地区で試験的に実施。当時、TNRは浸透しておらず、住民からは

「手術するぐらいなら処分して」や「地域に戻さないで」などの反対の声もあったが、話し合いを繰り返して65匹を手術した。初回の成功を受け、2度目の手術（15年）には津や鈴鹿、伊勢の各保健所が参加。県の呼び掛けもあり、3回目（6月15、16日）は県内の全保健所が参加するまでに広がった。

#### ◆ペースアップを

今回の手術には「ひだまりにゃんこ」をはじめ、県内各地のボランティア団体や地域住民らが連携して野良猫を捕獲。全国の獣医師ら6人がボランティアで執刀し、193匹が手術を受けた。その効果からか、伊賀地域での猫の殺処分は一昨年が125匹、昨年が46匹と年々減少。1年に1度の手術では妊娠してしまう猫も増えるため、県では「今後はペースアップして実施したい」との意向を示す。高松代表は「県の全面的な協力のお陰。殺処分ゼロを目指して、今後も継続してほしい」と力を込めた。

〔伊賀版〕